

第 69 回町村議会議長全国大会

中本正廣 会長挨拶

全国町村議会議長会会長、広島県安芸太田町議会議長の中本正廣です。

本日ここに、「第 69 回町村議会議長全国大会」を開催いたしましたところ、ご来賓の皆様には、公務極めてご多忙の折にもかかわらず、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

また、ご出席の町村議会議長の皆様には、全国各地からお集まりいただきました。

ここに深く感謝を申し上げます。

はじめに、本年8月の九州地方を中心とする記録的な豪雨災害をはじめ、本年も全国各地で、大雨、台風などの自然災害が相次ぎ発生し、甚大な被害が生じました。

お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

本会としましても、国民の生命・財産を守り、災害に強い強靱な国づくりを進めるためにも、防災・減災対策の強化を引き続き国に求めて参ります。

本年 10 月、高市早苗 内閣総理大臣が就任され、新しい内閣が発足されました。

高市総理におかれましては、総務大臣を歴代最長務められるなど、町村の立場を十分理解されておられることから、我々町村議会としましては大変心強く感じているところです。

「日本列島を強く豊かに」するため、力強いリーダーシップを発揮していただけるものとご期待申し上げます。

さて、多くの町村は、農山漁村や中山間地域に位置し、都市部とは地理的に離れているものの、食料やエネルギーの供給、水源涵養、国土保全といった国民生活を支えている魅力的な地域であります。

しかしながら、長期的な人口減少や東京一極集中により過疎化・少子高齢化が深刻な問題となっており、地域の活力が低下するなど共通の課題を抱えております。

スローガンにもあるとおり、地方創生とデジタル化の更なる推進、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実等、本会としても取り組むべき課題は山積しておりますが、

皆様のご意見をお聞きしながら、適宜、適切な機会を捉えて、政府・国会等関係機関に対し、町村の声を届けていきます。

ふるさとの誇りを未来へつなぐため、これまで取り組んできた地方創生の成果を活かし、町村が再び人々の活気で賑わうよう、国と密に連携を取りながら取り組んで参ります。

そして私ども町村議会にとって、目下の深刻な課題は、「議員のなり手不足問題」であります。

本会では、議員のなり手不足の大きな要因である議員報酬について、活動の豊富化と議員報酬の適正化に向けて取組むとともに、厚生年金への加入のための法改正について政府・国会に働きかけを続けております。

また、女性の議会への参画についても、全国の女性町村議会議員の協力を得ながら、調査研究を進めるとともに、議会の重要性を、若者に理解してもらうための主催者教育の推進にも取り組んでいるところです。

多様な人材が議会に参画できるようにするためには、議会の機能強化を図るとともに、立候補を阻害する要因を取り除き、志を抱く誰もが議員として活躍できる環境を整備しなければなりません。

議員のなり手不足対策への支援、低額な議員報酬の改善、厚生年金への地方議会議員の加入など、その実現に向けて要請活動を展開して参りたいと考えております。

地方の活力、とりわけ町村の活力なしで日本の活力はありません。

それぞれの地域を大切に想い、活動されている全国 926町村議会議長の皆様と共に、それぞれの町村の将来展望を切り開いていくことができるよう、一致団結して邁進して参りましょうではありませんか。

終わりに、本大会が所期の目的を達成できますよう、ご参集の皆様にご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年11月12日

全国町村議会議長会会長 中本 正廣